



越境大気汚染対策推進費

平成28年度要求額
342百万円 (326百万円)

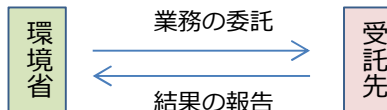
背景・目的

- 東アジア地域の急速な発展に伴い、我が国への黄砂や越境大気汚染が懸念される。
- 継続的にモニタリングを実施し、越境大気汚染や黄砂に関する実態解明を着実に推進する必要がある。
- 国際的には、EANET参加国のモニタリング等の能力向上を図るとともに、日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）の枠組みの下、大気汚染に関する政策対話やワーキンググループを通じた協力や、黄砂に関する共同研究を進める。

事業概要及びスキーム

- 東アジア地域における越境大気汚染対策のための国際協調推進費（87百万円：民間団体委託）
- 越境大気汚染モニタリング推進費（245百万円：民間団体及び地方公共団体委託）

事業スキーム



期待される効果

- 越境大気汚染や黄砂の実態解明、科学的な知見に基づく国際協力の推進。
- 我が国への黄砂や越境大気汚染の緩和。

東アジア地域における越境大気汚染対策のための国際協調推進費

東アジア地域における大気環境管理戦略の検討

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）活動やTEMMの枠組み等を活用した、東アジア地域の大気汚染防止のための戦略の検討。

EANETの発展の促進

EANET参加国（日本を含む13か国）の協働によるPM2.5・オゾン等のモニタリング強化等。

TEMMの下での国際協調の推進

TEMM等における合意を踏まえた、大気汚染や黄砂に関する協力の推進。

データや
知見の活用

越境大気汚染モニタリング推進費

「越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画」（環境省、平成26年3月改定）に基づき、越境大気汚染・酸性雨の影響を早期に把握するための体制を構築して、モニタリングを実施。

【モニタリング内容】・全国での酸性沈着（湿性・乾性）とその影響（陸水・土壌・植生）
・バックグラウンド地域でのオゾン・PM2.5・気象

黄砂の飛来実態の把握のため、黄砂実態解明調査、飛来状況リアルタイム観測網構築・情報提供等を実施。